

## 平成26年度第3回瑞浪市地域公共交通会議 会議録

- 日 時 平成27年3月4日(水) 10時00分  
○場 所 瑞浪市役所4階全員協議会室  
○出席者 委員17名、事務局3名  
勝 康弘 委員、磯部 友彦 委員、山本 博康 委員(代理 下平 真一郎)  
国島 英樹 委員(代理 瀬瀬 貴広)、生田 直人 委員、山田 芳喜 委員  
山田 幹雄 委員、門間 實 委員、山田 和洋 委員、橋本 清 委員  
板橋 仁晃委員、大山 理晴 委員、西脇 弘司 委員、伊藤 明芳 委員  
伊藤 正徳委員、遠藤 三知郎 委員、木村 伸哉 委員  
【事務局】瑞浪市商工課 成瀬 篤、足立 寛聡、吉田 和史  
○欠席者 小川 英明 委員、土屋 公彦 委員、東川 猛委員

### 1. 開会

定刻となったため、平成26年度第3回瑞浪市地域公共交通会議を開会した。司会・進行を成瀬事務局長が行った。

### 2. 会長あいさつ

勝会長があいさつし、あわせて中部大学 磯部委員を議長に指名(要綱第6条)した。

委員20名中17名の出席があり、要綱第6条第2項の規定により当会議が成立したため、司会より会議成立を報告した。議事録署名を瑞浪市連合自治会 大山委員に依頼した。

### 3. 報告事項

#### (1) 第2回瑞浪市地域公共交通会議の概要

事務局より、資料1に前回会議内容をまとめた旨を報告した。

#### (2) 瑞浪市生活交通ネットワーク検討分科会の検討内容

瑞浪市生活交通ネットワーク計画検討分科会長である磯部委員より、1月27日、2月12日、2月18日に分科会を開催し、計3回の分科会の中で、市北部はデマンド交通を導入、市中部は現行のコミュニティバスと東鉄バスを基本とした公共交通ネットワークとすること、課題となっている通学バスについては、コミュニティバスやデマンド交通と切り分けて考えることとして方向性を出したことを報告した。

具体的な内容については、事務局が資料1に基づき報告した。

### 4. 協議事項

磯部委員が議長となり、議事を進行した。

#### (1) 公共交通体系再構築の基本方針

資料3に基づき事務局より説明し、次のとおり意見が出された。

- ・山田(和)委員 資料2の16ページのコミュニティバス経費収支率について、児童・生徒を勘案して仮想収入を入れた上で考えるべきではないか。

- 山田(幹)委員 他市では、コミュニティバスの経費に教育委員会の予算が入っているところもある。収支率が悪いと市民から意見が出て、これから決める運賃にも影響する。児童・生徒の売り上げを切っている中での収支率ということを知っておく必要がある。
- ・磯部委員 通学便という言葉は使わない方が良いと思われる。
- ・山田(和)委員 予約方法が1時間前とあるが、瑞浪駅前から市の奥地まで30分かかる。点検、点呼も必要なので、1時間前は厳しい。目的地が自宅だと、初めての利用もあるので、安全面も含めて時間がかかる。
- 勝委員 午前運行は前日までに予約、午後運行は当日の午前中に予約など、どれくらいまでに予約が必要なのか参考意見をいただきたい。
- 山田(和)委員 セダンの車は、市内のどこかにいるので時間短縮されるが、ワンボックスになると車庫からになるので、2時間はほしい。緊急時のこともあるので、できれば予約は前日までと思われる。車によって違ってくるので、車の種類が決まればイメージできる。
- ・磯部委員 デマンド交通の乗降場所について、デマンド交通にバス停はないので、文言を考え直すべき。
- ・山田(幹)委員 車両補助は7人から10人までの車両にある。リフトやスロープを着けることも考えられる。車椅子とリフトを装着できる車両にすれば、福祉分野の輸送もできる可能性がある。公共交通の概念に福祉分野まで担うことができ、新しい概念になる。
- 勝委員 市では福祉まで検討していない。福祉タクシーの事業者もあるので、デマンドの定期路線が福祉車両に合うかということもあり、ここでは決められない。
- ・大山委員 補助金は、どこまであるのか。
- 下平委員 償却年数によってもかわるが、車両費の半額を複数年に補助する。
- 山田委員 車両価格は300万円くらいだが改造をいれて500万円くらいになる。半額補助、上限500万円という補助内容になると思う。また、デマンド交通のシステムにも補助がでる。
- ただし、平成27年に計画の認定をもらう必要がある。平成28年度に向けて、国庫補助のタイミングが合っているので、利用されてはどうか。
- 遠藤委員 経費が大きく、市の予算の制約があることもご了解いただきたい。
- ・磯部委員 通学対応と一般利用を一体的にすると考えてきた。  
一般利用をどうするかという中で、デマンド交通がでてきたが、課題も多い。経費は下げていきたいが、コミュニティバスに比べてデマンド交通は安くなるわけでない、という意見もあるため、今後検証していきたい。  
資料2は検討資料なので、適時修正していくが、資料3は方針なので、詳細を検討すると変わってくる。資料3の修正箇所としては、デマンド交通の予約時間1時間前という文言を修正する他、通学便という文言も修正することとしたい。

資料3について必要箇所は修正することとし、議題1については原案通り承認された。

**(2) パブリックコメントの実施について**

資料4に基づき事務局より説明し、意見は無かった。議題2については原案通り承認された。

**(3) 平成26年度瑞浪市地域公共交通会議補正予算**

資料5に基づき事務局より説明し、意見は無かった。議題3については原案通り承認された。

協議事項は以上となったため、磯部委員は議長を降り、司会を成瀬事務局長に戻した。

**5. 閉会**

以上により、平成26年度第3回瑞浪市地域公共交通会議の議題等は終了したため、11時10分終了、閉会の辞をもって解散した。

平成27年3月10日

議事録署名者           大山理晴